

とてっぽ

学校教育目標

十勝野に立ち 不屈を目指す

たくましい人間 自ら学ぶ人間 心豊かな人間



学校 HP

帯広市立川西中学校

学校便り

第 13 号

令和 8 年 2 月 26 日

校長 村上達也

振り返りの大切さ

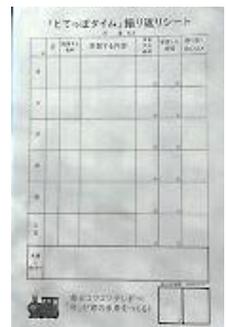
校長 村上達也

二月の時候の挨拶には、「向春の候」「立春の候」「春寒の候」「寒さのなかにも春の訪れを感じる頃となりました」など、春の兆しを思わせる言葉が多く用いられます。冬の最中でありながら、どこか胸が弾むような期待を抱かせてくれる時期でもあります。

現在、中学校では本格的な受験期を迎えています。3年生は、自らの進路選択と目標達成に向けて努力を重ね、3年間で最も大きく成長する時期でもあります。「人生は選択の連続」といわれますが、進路選択を通して子どもたちは考え、悩み、葛藤し、努力します。しかし、思うようにいかないことも多く、理想と現実のギャップに心揺さぶられることもあるでしょう。こうした複雑な思いを抱えながら自分自身と向き合ったときに、子どもたちは驚くほど成長する姿を見せてくれるものです。また、学校は「一人ではできない勉強をする場所」です。嬉しいことや楽しいことだけでなく、悲しいこと、悔しいこと、思い通りにいかないこともたくさんあります。そうした経験を通して、互いの姿から刺激を受け、学び、気づくことがたくさんあります。特に受験期は、個々の成長に加えて、仲間と同じ目標に向かい励まし合う中で得られる、かけがえのない学びに満ちる時期でもあります。最近、3年生の表情が一段と大人びて見えるようになったのは、その証であると感じています。本校の3年生の姿からも、春の訪れを思わせるような期待を感じています。

さて、国内の多くの企業では3月を決算月とし、4月から新年度が始まることから、この時期は一年間を振り返り総括するとともに、新年度への準備を進める時期にあたります。本校も同様に、先日保護者の皆様にご協力いただいた学校評価アンケートをもとに、今年度の成果と課題を整理し、新年度に向けた構想を練っているところです（裏面）。生徒の皆さんにとっても、いまの時期の過ごし方は、次のステージ（3年生は卒業後、2年生は最上級生として、1年生は中堅学年として）をより良い形で迎えるために、たいへん重要になります。ぜひ、将来や進路を見据えながら、この一年の自分を振り返り、成果と課題を確認し、自分を見つめ直す時間をもってほしいと思います。成果の振り返りは自己評価や自信につながり、課題の振り返りは改善の機会を見だし、次のステップに進む力となります。

「振り返り」とは、自らの言動や傾向を客観的に捉え、改善点を明らかにし、それを実行に移すことです。結果や要因、責任を中心に考える行為である「反省」とは性質が異なります。あるアメリカ企業の実験では、「10日間、毎日15分間の振り返りを行った社員は、振り返りをしなかった社員よりも平均して23%高い成果を上げた」と報告されています。この結果は、「私たちは経験そのものから学ぶのではなく、経験を振り返ることによって学ぶのだ」という哲学者の言葉を裏づけるものと言えるでしょう。本校では、下校前の「とてっぽタイム」を活用して、1日の振り返りと家庭学習の計画を行っています。生徒の皆さんがこの取り組みをうまく活用し、主体的な振り返りにつなげることができれば、春からの新しいステージがより充実したものになるのではないのでしょうか。



学校評価（後期）アンケートの結果から

「学校評価アンケート（後期）」にご協力をいただき、誠にありがとうございました。保護者の皆様の率直なご意見は、学校が組織的・継続的な改善を図ることで教育活動を日々向上させ、生徒にとってより良い教育環境を整えるためにたいへん重要な情報となります。同時期に全校生徒にも「生徒アンケート」（生徒自身の思いや考え等）を実施しましたので、それらの結果をお知らせします。

※以下の4択に数値を設定することで、数値化して算出しています。

そう思う（4） どちらかといえばそう思う（3） どちらかといえばそう思わない（2） そう思わない（1）

評価が高い項目（80%以上）の主なもの（前回 今回）

〔生徒〕

- ・ありのままの自分で良いと思う（3.23 3.21）
- ・自分は周りの人たちに助けられていると思う。（3.71 3.74）
- ・先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思う。（3.37 3.31）
- ・家族は、あなたの良いところを認めてくれていると思う。（3.47 3.35）
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。（3.71 3.72）
- ・川西中学校は、通いたい学校である（3.28）

〔保護者〕

- ・（子どもに）困っている人がいたら助けるなど、温かい心、思いやる心が育ってきている。（3.28 3.40）
- ・（子どもに）規則や社会のルールを積極的に守ろうとする態度が育ってきている。（3.57 3.53）
- ・川西中学校は、お子さんを通わせ合い学校である。（3.28）

評価が低い項目（70%程度、70%以下）の主なもの（前回 今回）

〔生徒〕

- ・自分は誰かの役に立っていると思う。（2.69 2.71）
- ・色々なことを自分で決めることができる。（2.69 2.77）
- ・学習した内容について、わかった点やよくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。（2.84 2.90）
- ・授業では、課題の解決に向けて、自分で考え自分から取り組んでいた。（2.90 2.90）

〔保護者〕

- ・（子どもは）学習の内容をしっかりと理解して身につけている。（2.57 2.73）
- ・（子どもは）家庭学習の習慣が身につけている。（2.70 2.63）
- ・（子どもは）学校の授業についてわかりやすいと言っている。（2.78 2.88）

自由記述・保護者アンケートからご指摘いただいた内容の一部

- ・授業が終わってその授業でわからないところがあっても聞きに行きづらいそうです。
- ・冬のアイスホッケーのあり方を根本から考え直した方がいいと思う。
- ・エアコンを完備してほしい。
- ・長期休み明け金曜日スタートはやめて欲しい。生活ペースを取り戻す時間があったほうがいい。

※学校行事や学校運営に肯定的な評価もいただいております。受容的な学校風土や教育文化を育成しながら、子どもたちの実態や社会の変化に対応する学校運営を関係機関と連携し進めて参ります。

今回のアンケート結果をもとに、令和7年度の教育活動を振り返り、改善点や強化すべき点を明確にし、次年度の方針や教育活動に反映させて参ります。ご協力ありがとうございました。

3月の行事予定

- 2日（月）街頭指導 ※5時間授業
- 3日（火）校長会議
- 4日（水）公立高校学力検査
- 5日（木）公立高校面接 教頭会議 PTA役員会
- 6日（金）おび学全学年「食育」 3年同窓会入会式 小中連携会議
- 9日（月）コミュニティ・スクール協議会 分掌部会 ※5時間授業
- 10日（火）おび学3年「手話出前講座」 川西地区青少年健全育成協議会事業
- 11日（水）おび学3年「認知症サポーター養成講座」 生徒会3年生を送る会 公立高校一般追検査
- 12日（木）卒業式総練習・会場準備
- 13日（金）第79回卒業証書授与式 下校バス 12:20 私立高校合格発表
- 16日（月）生徒会役員選挙 ※5時間授業
- 17日（火）公立高校合格発表 ※5時間授業
- 18日（水）職員会議 PTA総会（紙面） ナウマン号 ※5時間授業
- 19日（木）※5時間授業
- 20日（金）春分の日
- 23日（月）大掃除 ※5時間授業
- 24日（火）修了式 離任式 川西小卒業式 ※5時間授業
- 25日（水）春休み ~4月7日（火）

中学校の3年間は、自分の心と頭と体を精一杯使って、「本当の楽しさ」を知る大切な時間

R7年度 目指す姿：Well-being 帯広かわにし「自立・貢献」 重点目標：川西中らしい成長ストーリーの創造